

とっとり観光ニュース2012年1月号

3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

鳥取県では、県内施設等への避難者受け入れや、被災地に支援物資をお届けするために職員災害応援隊を派遣する等、被災された方々・地域への様々な支援を行っております。

鳥取県の対応については、以下のWEBページにて随時お知らせしておりますので、ご参考ください。

■東北地方太平洋沖地震への鳥取県の対応／<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=154943>

■問い合わせ先／鳥取県庁危機管理局 危機管理政策課

TEL 0857-26-7584 ファクシミリ 0857-26-8137

今後も、県内各機関、全国知事会、関西広域連合等とも連携して、被災地のニーズに対して迅速に対応すべく各種支援を実施していきたいと考えております。

2012年の始まりです！新しい年が幸せな良い年になりますよう、お祈り申し上げます。

「とっとり観光ニュース」では、今年もみなさまに鳥取県の魅力ある観光情報をいち早く提供できればと思いますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

1 初詣、お願い事は今年も鳥取で！

鳥取県には多くの神社がありますが、新年初めての観光ニュースということで、2012年に編纂から1300年をむかえる古事記ゆかりの神社、2012年の干支「辰」に因んだ神社、縁起の良い名前を持つ神社など、初詣や開運祈願におすすめの神社をご紹介します。

まず、因幡一ノ宮「宇部（うべ）神社」。古事記に登場する古代の名宰相「竹内宿禰命（たけのうちのすくねのみこと）」が360歳で因幡国（現在の鳥取県東部）に下向し、宇倍神社の地に草履を残して行方知れずとなったという伝説が残る、明治の時代から度々紙幣の絵柄にもなった歴史ある神社です。このほか、11月号でご紹介した「開運八社」も縁起の良い名前の神社として知られています。初詣、お願いごとは、今年も是非鳥取県で！

【宇倍（うべ）神社】

古事記にも登場する古代の名宰相「竹内宿禰命」を祭った神社。明治32年、全国の神社で初めて五円紙幣の絵柄となって以来、大正、昭和と度々紙幣に登場し、紙幣と縁が深いことから、お札（紙幣）の神社として金運にご縁があるといわれています。今尚、因幡一ノ宮として地元の人々が信仰を寄せている歴史ある神社です。



(宇倍神社)

■場所／鳥取県鳥取市国府町宮下字一宮 651

■問合せ先／宇倍神社 TEL/0857-22-5025

■参考／<http://www.ubejinja.or.jp/>

【神崎（かんざき）神社】

地元では「荒神さん」の愛称で親しまれる水産開運、牛馬の守護神。迫力ある龍の彫刻がある神社。

■場所／鳥取県東伯郡琴浦町大字赤碕 210

■問合せ先／琴浦町観光協会 TEL/0858-55-7811



(神崎神社)

【金持（かもち）神社】

年間 20 万人が参拝するパワースポットです。

■場所／鳥取県日野郡日野町金持 1490 金持神社札所（売店）

TEL/FAX/0859-72-0481

(TEL 受付 AM10:00～PM16:00 まで)

■参考／<http://www.kanemochi-jinja.net/>



(金持神社)

【福栄（ふくさかえ）神社】

幸運を呼び込み繁栄を招く、招福袋が話題です。

■場所／日野郡日南町福栄

■問合せ先／日南町観光協会 TEL 0859-82-1114



(福栄神社)

【樂樂福（ささふく）神社】

楽しい生活と幸福を招きます。

■場所／日野郡日南町宮内

■問合わせ先／日南町観光協会 TEL 0859-82-1114

■参考／http://www.pref.tottori.jp/kouhou/mlmg/topics/707_2.htm

【富益（とみます）神社】

富貴が益々舞い込みます。

■場所／米子市富益町 936

■問合せ先／米子市観光協会 TEL 0859-37-2311

【豊榮（とよさか）神社】

豊かさと繁栄を招きます。

■場所／東伯郡琴浦町大字勝田 245 番

■問合せ先／琴浦町観光協会 TEL : 0858-55-7811



(豊榮神社)

【福富（ふくどみ）神社】

幸運と富貴を招きます。

■場所／倉吉市福富 326 番

■問合せ先／倉吉市観光協会（倉吉市役所商工観光課内）

TEL 0858-22-8158



(福富神社)

【茂宇気（もうけ）神社】

「もうけ」という名称から商売繁盛の神様として参詣者も多いです。

■場所／鳥取市鹿野町河内（鎮座地）

■問合せ先／茂宇気神社社務所(鹿野町鷲峰 889) TEL 0857-84-2759

2 まんが王国とっとりで「名探偵コナンワールド」開催

国際マンガサミットに向け、北栄町出身の青山剛昌さんの「名探偵コナン」をテーマにしたイベントが開催されます。

会場内にはコナンに関するクイズや、2012年4月14日（土）ロードショーの劇場版『名探偵コナン 11人目のストライカー』の最新情報などの展示も実施。会場を含めた全てのポイントを回るとイベントオリジナルステッカーがもらえるスタンプラリーも開催します。

倉吉で謎解きをした後は、12月号でお知らせした青山剛昌ふるさと館での年始イベントもお忘れなく！

■内容／歴代の劇場版『名探偵コナン』ストーリー紹介、物

語の中でコナンが使用する秘密アイテム（フィギュア）の展示、コナンに関するクイズラリー、10個のポイントを探すスタンプラリーも実施。

■期間／平成24年1月3日（火）～3月4日（日）

■開場時間／10時～18時

■場所／エキパル倉吉多目的ホール（JR倉吉駅、倉吉市上井195）

■入場料／300円（小学生未満無料）

■「青山剛昌ふるさと館」入館チケットと同時購入でそれぞれの料金を100円割引

■問合せ先／県庁観光政策課まんが王国とっとり推進室 0857-26-7791

■青山剛昌ふるさと館（北栄町由良宿）年始イベント

・平成24年1月1日（日）～1月3日（火）※詳しくはホームページをご覧ください。

・「青山剛昌ふるさと館」ホームページ／<http://www.gamf.jp/>



青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS1996

(※画像の無断転載禁止)

3 鳥取のグルメを知るならまず「とり漫」！

「まんが王国とっとり」のグルメがこの度コミックになりました。著名な食漫画家と鳥取県出身の漫画家の皆さんが鳥取のグルメを中心に、鳥取を訪れた際のエピソードや鳥取で育った頃の思い出など、各々のユニークな視点で描かれています。

言葉や文字ではなかなか伝わらない鳥取の魅力や意外な一面、数々の鳥取グルメのおいしさを漫画で面白く分かりやすく紹介された、「まんが王国とっとり」ならではの楽しさいっぱいので1冊です。鳥取のグルメを手っ取り早く知りたいというかたにおすすめです。

「とり漫」を読んで鳥取へ来れば楽しさもおいしさも倍増間違いなしです。



(「とり漫」の表紙)
※画像の無断転載禁止

■概要

- ・規格等：A5版、172ページ
- ・発行元・発行部数：株式会社日本文芸社、1万部
- ※全国書店、コンビニエンスストア等で販売（価格735円）

■内容

- ・鳥取県出身漫画家の応援メッセージ
- ・「国際マンガサミット鳥取大会」「まんが王国とっとり」PR
- ・鳥取の「食」をテーマとした漫画（食漫画家が執筆）、鳥取の「食」や「思い出」等を綴った漫画（鳥取県出身の漫画家等が執筆）
- ・コラム等
- ・あとがきは、漫画家の里中満智子さん（アジアMANGAサミット運営本部代表）

■参加作家（14名、敬称略）

- ・鳥取県出身漫画家（9名）：藤原芳秀、伊藤ゆう、細川雅巳、宏橋昌水、大地翔、坂本久作、玄太郎、川崎三枝子、あばたたろう
- ・「食漫」関連漫画家（5名）：うえやまとち、土山しげる、ラズウェル細木、井上いちろう、九十九森&さとう輝

4 ファン必見！東京で鳥取の手仕事展開催

日常に使うものにこそ真の美しさがあるという「用の美」。民芸の精神を今に受け継ぐ鳥取の手仕事は、近年、雑誌や有名セレクトショップで取り上げられるなど全国でファンが急増中ですが、この度、東京都内3箇所で鳥取の器や和紙などを中心に鳥取の手仕事をテーマにした展示会の開催が決定！

各会場では、鳥取の風景や人々の写真展示、大の鳥取



ファンであるイラストレーターの安西水丸さんのイラスト紹介、竹細工のワークショップや料理会なども行われ、会場ごとに様々な形で「鳥取」が紹介されることになっています。3通りの鳥取の魅力、「とり漫」に続いてこちらにも一味違った鳥取の魅力を知っていただけるチャンスです。

使いやすさと美しさ両方を追求した鳥取の手仕事をご堪能ください。また、器や因州和紙のほか、弓浜がすりや木工、郷土玩具など、鳥取にはまだまだ素晴らしい手仕事がたくさんあります。鳥取へお越しの際には是非手にとってご覧になってください。（※写真は、H22年9月にCLASKAで開催された「トットリに行ってみつけたもの展」の様子）

■「ドーの craft trip TOTTORI」

- ・期間／平成24年3月3日（土）～平成24年3月25日（日）
- ・場所／CLASKA Gallery & Shop” D0”（東京都目黒区中央町1丁目3番18号）
- ・展示内容（予定）／山根窯（鳥取市青谷町）、延興寺窯（岩美町）ほか
※期間中、鳥取ファンであるイラストレーター安西水丸氏の鳥取をテーマにしたイラスト紹介

■「鳥取の手仕事展」（仮称）

- ・期間／平成24年3月17日（土）～平成24年3月25日（日）
- ・場所／SML（東京都渋谷区恵比寿西2-17-22 エビスサンドエル1F）
- ・展示内容（予定）／因州中井窯（鳥取市河原町）、山根窯（鳥取市青谷町）、延興寺窯（岩美町）、福光焼（倉吉市）、牧谷窯（岩美町）ほか
※会期中には、境港市出身で、純米酒と食を研究しておられる山本洋子さんのトークショーを開催（会場：SM-g 東京都目黒区青葉台1-15-1 AK-1ビル1階）

■「鳥取にまつわるものもの」

- ・期間／平成24年3月24日（土）～平成24年3月31日（土）
- ・場所／夏椿（東京都世田谷区桜3-6-20）
- ・展示内容（予定）／山根窯、大塚刃物鍛冶（智頭町）、株式会社サカモト（智頭町）、因州和紙（鳥取市）ほか
※期間中、料理会、竹細工ワークショップを開催（会場は夏椿、日程は未定）

■各展示会に関する問合せ先／鳥取県文化観光局観光政策課 TEL：0857-26-7421

ホームページ「鳥取の手仕事」：<http://www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto>

■関連情報／「とっとり今食×うつわ 2012～民芸と街歩き」開催（アドバイザーに料理研究家の長尾智子氏）

- ・期間：平成24年4月7日から5月6日まで
- ・場所：鳥取市若桜街道各飲食店、ギャラリー、民芸芸品販売店
- ・内容：鳥取の器と食材による期間限定メニュー 他
詳しくは次号でお知らせします。ご期待ください！

5 水鳥たちの貴重な越冬地 米子水鳥公園

コハクチョウの集団越冬地としては日本の南限になっている米子水鳥公園（米子市）。冬は越



冬のためやってきたコハクチョウたちに出会うことができます。秋は10月中旬頃に飛来し、2月中旬頃から繁殖地へと帰り始める「北帰行」がみられます。

米子水鳥公園がある中海周辺は、国内で確認された野鳥のうちおよそ42%の種類が記録されている、山陰屈指の野鳥の生息地。その東端にある米子水鳥公園は、中海の一部としてラムサール条約に登録され、水鳥のサンクチュアリ(保護区)となっており、コハクチョウにとっては「家」のような、大切な場所。越冬するたくさんのコハクチョウの鳴き声は、「残したい日本の音風景100選」にも選ばれています。

また、ネイチャーセンターでは、備え付けの望遠鏡で遠くにいる鳥もはっきりと観察することができます。

冬にはオナガガモ、オジロワシ、オオタカなどもやってきます。春にはカルガモ親子、夏にはカイツブリの子育て、秋には国の天然記念物のマガンなど、一年を通じて水鳥をはじめ様々な貴重な生き物の営みを観察することができる、自然豊かな鳥取ならではの公園です。近くには美しい白砂青松の浜辺に臨む皆生温泉があります。温泉とかわいらしい水鳥たちの姿に、体も心も癒される旅ができそうです。

■開園・開館時間／4月～10月 9:00～17:30

11月～3月 7:00～17:30(土・日・祝日)、8:30～17:30(平日)

■休園・休館日／毎週火曜日(祝日と重なった場合は、その翌日)

祝日の翌日(土曜日、日曜日を除く)、

12月29日～1月3日まで

■ネイチャーセンター入館料／大人 300円、小中学生無料、15名以上は大人一人につき200円、年間パスポート1,500円(記名式)

※70歳以上の方、身体障害者の方、要介護認定者の方は入館料免除

■問合せ／米子水鳥公園 (財)中海水鳥国際交流基金財団(米子市彦名新田665)

TEL:0859-24-6139、ホームページ:<http://www.yonago-mizutori.com/>

6 鳥取のひな祭り

鳥取市用瀬町(もちがせちょう)では、旧暦の3月3日、男女一對の紙雛を棧俵(さんだわら)に乗せ、無病息災を願って県東部を流れる千代川(せんだいがわ)に流す行事が行われます。昭和60年、県無形民俗文化財に“もちがせの雛送り”として指定されました。雛流しそのものの歴史は古く、その原型は、遠く平安時代にさかのぼるといわれています。鳥取市用瀬町には今日まで、時代の変遷と共に形を変えながらも、“もちがせの流しびな”として受け継がれてきました。今年も3月24日(土)に行われます。

また、八頭郡智頭町でも3月24日(土)、25日(日)に「雛あらし」の行事が行われます。もとは昭和30年ごろまで行われていた、桃の節句に飾られる家々のひな人形を見て回り、お菓子やご馳走を食べる「雛あらし」の風習を再現した祭りです。大正や昭和の時代の雛人形や市松

人形が町内の民家や店舗に展示されるほか、ポン菓子や水飴で固めて丸くした「おいり」作りや、商店街の各店舗に置いてあるパーツを集めて一体の人形を作り上げる「雛人形ラリー」など楽しい行事が予定されています。

まだまだ寒さの残る3月ですが、鳥取県東部には多くの温泉地(岩井・鳥取・吉岡・浜村・鹿野)があります。わくわくしながら雛人形を飾った子供の頃を懐かしく思い出しながら温泉であたたまる、ゆっくりと時間の流れる早春の鳥取の旅をお楽しみください。



■もちがせの雛送り

- ・日 時／平成24年3月24日(土)、午前10時～午後4時
(※一般来場者のひな流し体験は午前11時～午後2時、幼子達のひな流しは午後2時～午後3時)
- ・場 所／鳥取県用瀬町
- ・問合せ先／(財)用瀬町ふるさと振興事業団 TEL:0858-87-3222
- ・流しびなの館ホームページ：<http://nagashibinanoyakata.jp/>
※会場はJR用瀬駅から徒歩約5分。特急スーパーはくと号、特急スーパーいなば号のそれぞれ一部が用瀬駅に臨時停車する予定です。

■智頭・備前街道 雛あらし

- ・開催日／平成24年3月24日(土)、3月25日(日)
- ・場 所／智頭河原町商店街と智頭宿一円
- ・問合せ先／かわらまち「夢づくり」委員会 TEL:0858-76-1111
- ・智頭町観光協会ホームページ
<http://cms.sanin.jp/p/chizu/kankou/event/hinaarashi/>

7 山陰随一の梅林「野花梅溪散策ツアー」



桃の節句の話題につづき、春の訪れを告げる梅の話題をご紹介します。湯梨浜町野花(のきょう)には、東郷湖・日本海を臨む景観を誇る「山陰随一の梅林」があります。

品種は「野花備後(のきょうぶんご)」といい、昭和15～16年の頃、鳥取県湯梨浜町野花の果樹園において発見された、湯梨浜町原産の品種です。開花期が遅く結実が安定しており、豊後系の品種の中でも高品質であることが特徴です。

現在では2,000本の梅の木があり、3月上旬～3月下旬頃まで特徴あるピンク色の美しい花を咲かせています。3月上旬から下旬頃までの春限定ツアーです。(※詳細は問合せ先まで)

- 期間／3月上旬～3月下旬(天候等自然条件により年毎の開花状況は異なります。)
- 場所／湯梨浜町野花地区
- 料金等／<団体企画> 330円、「燕趙園」の入園+中国グッズのセットプラン700円

※最少催行人数 20 名、最大収容人数 100 名

＜個人企画＞ 「燕趙園」入園とのセットプラン 100 円

■散策ルート（3ルート）

- ・東郷湖を望む「望湖台梅林」
- ・東郷湖・日本海を望む「眺湖梅林」
- ・梅林と山が水墨画のような「棚霞梅林」

■その他

- ・「野花豊後」の加工品（ジュース等）プレゼント。
- ・梅溪の散策路には、地域の加工グループによる茶店等が出展（団体企画の場合）

■問合せ先／湯梨浜町観光協会（東伯郡湯梨浜町久留 1 9 - 1 湯梨浜町産業振興課内）

TEL 0858-35-5383 FAX 0858-35-5387

ホームページ 湯梨浜町観光協会 <http://www.yurihama.jp/kankou/>

コラム ～かるたでジオパークをPR

「山陰海岸ジオパーク」の魅力とは？長い年月をかけて作りだされた雄大な自然、貴重な動植物、おいしいグルメ、人々の暮らしの風景などなど、「地形・地質の博物館」といわれるだけあって、山陰海岸ジオパークをよ～くご存知の皆さんにとっては、とても一言では語りつくせないのではないのでしょうか。

山陰海岸ジオパークの魅力を全国の皆さんに再発見していただき、もっと知っていただきたい！という思いから、「山陰海岸ジオパークかるた」を作ることになり、読札、絵札を募集します。熱く語りたという皆さん、そこをぐっとこらえて、あなたにとっての素敵な魅力を、言葉、イラスト、写真などを使って全国の皆さんに発信してみませんか。

■募集期間／平成 23 年 12 月 15 日～平成 24 年 1 月 31 日（必着）

■応募要件／・応募資格／どなたでもご応募いただけます。

- ・読み札と絵札のセットで 1 作品とし、読み札には山陰海岸ジオパークに関連する地名、見どころ、施設名称等を含み、絵札は絵画、切り絵、写真等可。

※詳細は下記連絡先へお問合せください。

■連絡先／山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局（兵庫県豊岡総合庁舎 3 階）

TEL : 0796-26-3783

ホームページ : <http://sanin-geo.jp/modules/geopark/index.php/karuta.html>



編集・発行：鳥取県文化観光局観光政策課 電話 0857-26-7237 FAX 0857-26-8308 E-mail kankou@pref.tottori.jp

発行年月日：平成 23 年 12 月 22 日 県内外のマスコミ関係者の皆様に、地元の視点から県内観光スポットや関連イベント等を紹介し、この観光ニュースは、マスコミ等の皆様へ定期的にお届けし、記事等の参考にしていただけるように心掛けて作っています。しかしながら、紙面には限りがあります。不明なところなどは気軽にお問い合わせください。複製・転載可。（一部画像を除く。）